

# 兵庫県社会福祉協議会研修アドバイザーによる研修を終えて

咲くら工房 野村明日香

兵庫県社会福祉協議会研修アドバイザーに来ていただき、木の芽福祉会の管理職・サービス管理責任者・主任が参加した研修を令和5年2月から8月の間の月1回ペースで開催し、全て終了しました。

アドバイザーの松浦先生の柔らかい話し口調で、社会福祉に従事する役職員に求められる機能・役割及び資質・能力等について、今、木の芽福祉会が直面している「人材育成」というリアルタイムの課題だったこともあり、毎回現場を思い返しながらか、それぞれが学ぶことができ、約半年間の研修の終わりが寂しくなってしまうなど思うほどでした。

OJTリーダーに求められるものは、指導するだけでなく相手の反応やレベルを見ながら、その人に合った指導法、話すこと聴くことの機会を大切にすること。知識を伝えるにはそれを取り巻くもっと幅広い視点が必要であること、そのために本を読むこと。リーダーにはEQ（心の知能指数）という感情を読み取る力、コントロールする力、考える力（知識化・構造化・いろいろなことに使えるように）が大切であること等々、普段の業務の中で重なる要点がたくさんありました。キャリアプランの構築・策定を目指して、階層ごとに求められる職員像を列挙して整理するグループワークをしたり、具体的に木の芽福祉会が抱える課題をみんなを出し合ったグループワークでは、課題や問題の答えは、施設や個々人の中にあるということも学ぶことができました。

それぞれの立場から、今回の研修から得た気づきや学びを今後の業務に即時に役立つ、木の芽福祉会で活用できる人材育成のポイントばかりだったと思います。そして、木の芽福祉会の管理職、サービス管理責任者、主任が研修として月1回集まることで、顔を合わせて、話をし、学んで…という時間が今後も、このように学んでいこうよ！という意欲につながり、今後も毎月テーマを決めて研修を継続させたいということにもなりました。

講師の松浦先生、ありがとうございました。

